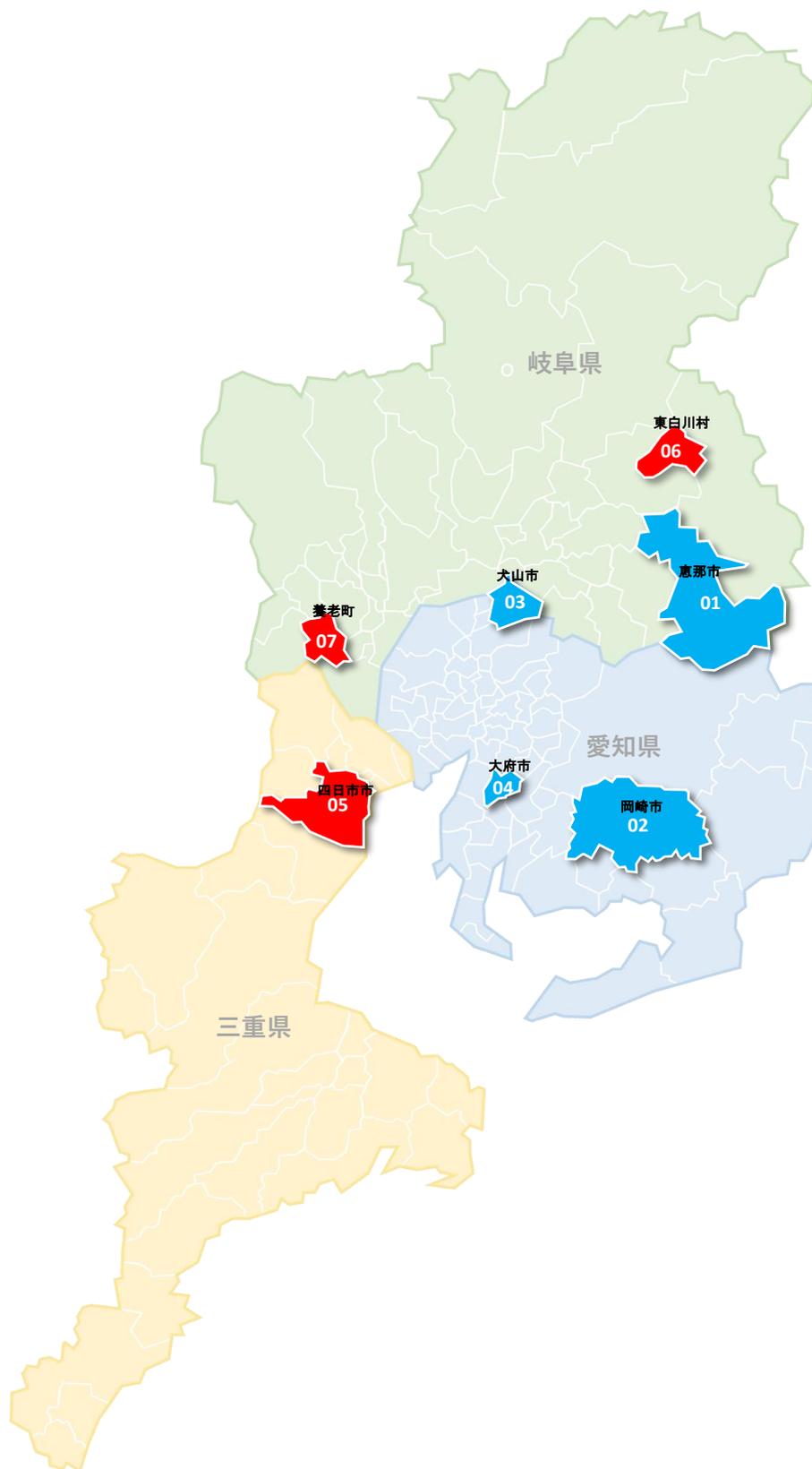


# 東海農政局管内の選定地区の概要

## 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第9回選定）位置図



### 全国選定

#### 01 岐阜県恵那市

株式会社 恵那川上屋  
(ビジネス・イノベーション部門)

#### 02 愛知県岡崎市

岡崎市ぬかたブランド協議会  
(コミュニティ・地産地消部門)

#### 03 愛知県犬山市

株式会社 ココトモファーム  
(コミュニティ・地産地消部門)

#### 04 愛知県大府市

高木 幹夫  
(個人部門)

### 東海農政局選定

#### 05 三重県四日市市

九鬼産業 株式会社  
(ビジネス・イノベーション部門)

#### 06 岐阜県東白川村

株式会社 <sup>やまきょう</sup>山共 forenta事業部  
(コミュニティ・地産地消部門)

#### 07 岐阜県養老町

ひょうたんマダム 竹内 蘭  
(個人部門)

## 全国選定

ビジネス・イノベーション部門

01

### 株式会社恵那川上屋（岐阜県恵那市）

－ おかしなトマトが持続可能な地域を創る －



温室ハウスでのトマト栽培



恵那川上屋直売所のトマト商品



「おかしなトマト」関連商品

6次産業化

地産地消



#### 概要

- 栗の農閑期栽培の高付加価値トマトと、栗・野菜の未利用部分を活用した商品開発で地域・農家が儲かる仕組みを構築。
- 菓子屋ならではの取組として「お菓子の代わりに食べられる」、「素材の甘さだけでそのままお菓子として使える」をコンセプトとして甘さのみを追求したフルティカトマトの栽培を開始。

#### 成果

- お菓子の代わりのおやつとしてのトマトの購入者が増え、直売所は毎日朝から行列の状態となり地域の自慢作りと活性化に貢献。
- 60歳以上の近隣住民を中心に新たな雇用を創出。

## 全国選定

コミュニティ・地産地消部門

02

### 岡崎市ぬかたブランド協議会（愛知県岡崎市）

－ ひと・水・緑が輝く里ぬかた －



「おかざきかき氷街道」 地元農産物と名水を使用したかき氷



ぬかたブランドをPR



千万町棚田を核とした地域振興活動

6次産業化

農泊

棚田保全



#### 概要

- 平成30年に地元の商工会、森林組合、大学、市やJA等で協議会を設立。地元の農産物と名水を使用したかき氷、特産の鮎、棚田といった地域資源ごとに部会を設けて磨き上げ、観光コンテンツとしても提供。
- 地域の農林水産物・加工品に「ぬかたブランド」マークを表示。周遊マップの作成やYouTube等で発信。

#### 成果

- 農林水産物の新商品・リニューアル商品の売上は約900万円（平成30年度）から約4,100万円（令和3年度）に急増。
- かき氷の販売数は約6,300杯（平成30年度）から約2万杯（令和3年度）に増加。

## 全国選定

コミュニティ・地産地消部門

03

### 株式会社ココトモファーム（愛知県犬山市）

－ 農商工福の連携により障がい者の居場所を創る －



自家製米粉グルテンフリーバウムクーヘン



桃太郎マルシェ



農福連携で米を生産

6次産業化

農福連携

地産地消



愛知県  
犬山市

#### 概要

- 米の生産からバウムクーヘンの製造・販売までを自社で一貫して実施するなど、6次産業化をベースにした農福連携に取り組み、障がいがある人もない人も同じ賃金で雇用して所得向上を実現。
- JA西三河と連携して地元農産物を使ったメニューを提供するほか、名古屋鉄道と連携して犬山市桃太郎神社で「桃太郎マルシェ」を共催。

#### 成果

- 直営店舗とインターネット販売の売上は約3,200万円（令和2年度）から約2.3億円（令和3年度）に急増。
- 犬山市シルバー人材センターとのコラボ店舗の運営や、シルバー会員と障がい者の農業を通じた交流の輪の拡大に貢献。

## 全国選定

個人部門

特別賞

04

### 高木 幹夫（愛知県大府市）

－ 次世代につなぐ「食」文化 －



あいち伝統野菜の農業体験



小学生向けに作成した教本の無償提供



保育園児による播種作業

農業

地産地消

伝統の継承



愛知県  
大府市

#### 概要

- 昭和50年代、地元の在来タマネギから播種作業を始めて40年以上、種苗会社がほとんど扱わない「あいちの伝統野菜」を栽培・播種。
- 「次世代につなぐ採種作業」をテーマに講座・講演・食イベントを通じて「あいちの伝統野菜」の普及活動を実施。

#### 成果

- 10坪から始めた農地の借受は約300坪に増加。愛知県認定の伝統野菜の栽培・採種は21品目35品種に到達。
- 県内の飲食店をあいちの伝統野菜を「食べられるお店」、「買えるお店」、「学べる教室」に認定する制度を推進。
- 日本伝統野菜推進協会と連携して小学生向け教本を作成し、地域の小学校に無償で提供。

九鬼産業株式会社（三重県四日市市）

－ 国産ごま取り扱い日本一への挑戦！ －



ごま栽培機械化プロジェクトへの参画



福祉事業所と連携した播種作業



生産したごまを原料とした製品



農業

農福連携

概要

- 「三重県ごま産地化プロジェクト」を立ち上げ、既存生産者への研修会、新規生産者の掘り起こしを実施。自社ほ場での栽培試験等により栽培技術・知見を取得し現場の生産者にフィードバック。
- 県、農薬販売社等と連携し、「ゴマ農薬適用拡大検討委員会」を組織。ごまの農薬登録を行い、国産ごま栽培の普及に貢献。

成果

- 国、県、農機具メーカー、生産者と「ゴマの機械化コンソーシアム」を結成し、研究を重ね機械化を実現。慣行栽培（手作業）と比較し労働コスト約60%を節減。
- 令和3年度には生産者52名（うち福祉事業所8）、面積は19haと全国2番目の産地にまで拡大。

株式会社山共 forenta事業部（岐阜県東白川村）

－ 森林を開放し価値ある財産として後世に遺す －



森林の中でキャンプを楽しむ利用者



利用者が切捨間伐材で作った秘密基地



自ら手作業で整地した空間でくつろぐ利用者

岐阜県  
東白川村

林業

農村環境・景観保全

関係人口の創出

概要

- 森林に木材生産以外の新しい価値を生み出すためキャンパー向け「森林レンタル」を開始。森林を300坪に区切り年間契約で貸与。
- 1ha当たり年間50万円程度収益があり、木材生産と並行して育林費用を得ることができ、森林経営へのモチベーション向上に寄与。

成果

- 現在77組の利用者が年間を通じて足を運び、関係人口の創出を実現。契約更新率は約9割。
- 東白川村での仕組みを北海道、静岡県、京都府、福岡県でも展開し、自然と人が共存できる森林活用を全国に拡大。

07

ひょうたんマダム 竹内 蘭 (岐阜県養老町)

－ ひょうたんの聖地で愛を叫ぶ－



©2022 Alice Taylor & Thomas Taylor ALL RIGHTS RESERVED  
商品化された「ひょうたんバーバパパ」



子どもたちへの瓢箪普及活動



ポップな工芸品

概要

- 町のシンボルである瓢箪の栽培とともに、伝統的な瓢箪工芸の枠にとらわれないアート作品や他分野のアーティストとコラボ作品を制作。
- 町内の学校への苗配布や技術指導、各地で瓢箪文化史の講義と合わせた体験教室等を開催。

成果

- アート・体験・癒しなど瓢箪の新たな魅力を発信し、町のシンボルである瓢箪文化の復活・継承に寄与。
- 瓢箪に人気キャラクターのデザインをした世界初の「ひょうたんバーバパパ」を商品化。新たな瓢箪ファンを獲得。

- 6次産業化
- 伝統の継承
- 多様な分野との連携



岐阜県  
養老町